

コーディネーター通信 No.3

平成28年9月27日
新潟市立内野中学校
地域教育コーディネーター
玉木園子 山岸則子 木竜吉子



地域で活躍する中学生



今年の夏も、内野中の生徒は地域で様々な活動をしました。

新川でゴミ拾い 7/16

今年は海岸清掃と日にちが近く心配でしたが、98名もの生徒が参加しました。地域の川をきれいにしたいという思いの表れですね。



海岸清掃 7/18

生徒会が中心になり、早朝から多くの生徒が地域と一緒に活動しました。



西幼稚園 夏祭り 7/22

- 生徒11名参加 -

なつかしい場所で仕事できたのは良かったです。

初めてボランティアをしたが、園児たちがとてもフレンドリーで「人見知りするだろうな」と思っていたので、自分から話しかけてきてくれた時、とても嬉しく応募して良かったと思いました。

たくさんの園児や地域の人やいろいろな人とふれあえたと思う。(もどりてーなー)

小さな子とふれ合えて楽しかったです。普段あまりこのような体験をしたことがなかったので、難しかったけれどすごく勉強になりました。



大変だったが、園児が笑ってくれて頑張ろうと思った。

久しぶりに幼稚園に来て、小さい子たちと話せてきて良かったです。2年生になっても来たいです。

私は、こども銀行を担当しました。小さい子たちがゲームをするためにがんばってじゃんけんしている姿をみて元気をもらったし、かわいいなと思いました。

私は「にんじゃまつり」の手伝いを経験しました。子どもたちが小さな手で手裏剣を投げているのはとても愛らしかったです。すごくいい経験をさせてもらいました。本当にありがとうございました。

小さい子どもたちとたくさんふれあえました。いっぱいしゃべれる子、あまり自分の言葉を伝えられない子がいました。最初は戸惑いましたが、笑顔で話すと相手も笑顔で返してくれてすごくうれしかったです。すてきな経験をありがとうございました。

小さな子とふれ合っとても楽しかったです。私も保育園児に戻った気分でした。楽しいひとときをありがとうございました。



うちの盆踊り 7/30

- 有志生徒10名参加 -

お囃子や踊りの練習を経て、本番は見事に盆踊りを盛り上げてくれました。地域の貴重な人材です。



練習風景

みるみる上達する様に、指導に入った地域の方も嬉しそうでした。



本番です。

中学生の参加で一層はなやかに感じました。



内野まつり フェスティバル参加 9/17

- 吹奏楽部 -



内野まつりの見せ場です。毎年恒例になり、楽しみにしている方もたくさんいます。



夏休み学習教室 7/29,30



2日間、先生方やボランティアの皆さんと熱心に学ぶ姿がみられました。

校長先生、教頭先生と語る会 7/30

夏休みの一日、何名かお声がけできたボランティアさんと校長先生、教頭先生を交えて「語る会」を開きました。普段ボランティアをしていて感ずる事、思うところ、また内野中の教育についてなど、様々な意見を出していただきました。時間に制限があり、語り合うには不十分でしたが、なかなか白熱した会になりました。

ボランティアの皆さんの深い思いに触れることができ、大変ありがたく思いました。また、このようにコミュニケーションをとる機会を継続して作っていく大切さも感じました。



西区デザイン講座(ジュニア版) 8/3



「子どもから高齢者までたくさんの人が積極的に交流する元気な街」というテーマで西区の中学生と地域の代表者が語り合いました。

中学生が自分の地域の良いところにたくさん気づいていることにまずは驚きました。地域の良いところをどう活かすか、何かできるか具体的に考えた今回のアイデアが実際に形になると、地域への関心や関わりがより高まり、中学生の自信にもつながっていくと思いました。

- 参加した生徒の感想 -

内野の問題点を確認でき、日ごろ聞くことがない地域の人々の声を知ることができました。それに、内野周辺の地域のことも詳しく知ることができたので、これからは自分出来ることを精一杯努めていきたいです。

何も分からないところへ足を踏み入れたことで得た知識もありました。地域のことを客観的に見ることで発見したこと、自分たちしか分からない貴重な体験ができました。

他校との交流により得た様々な取り組み、内野のためにできることもたくさんあると思いました。

内野町の文化にふれ、桜などの大切さ、海、川があるありがたさを知ることができました。未来の内野町の姿や、昔の姿など初めてじっくり考えることができました。

また、他の学校の人と意見を交わし、より良い学校にするための活動も知ることができました。中学生だからまだできない。ではなく、中学生だからできることをしていきたいです。

「私達の町を私達で変える」というのは今まであまり考えたことがなかったし、非現実的な感じだったけれど、講座で身近でできることが意外とあると分かった。

同じ班になった皆さんが、私達をサポートしてくださったり親しみやすくしてくださったおかげで楽しく話し合いを行うことができました。

地域の方や他校の生徒会委員と交流することができ、学べることが多くありました。普段は考えたことのない「将来の町のすがた」について、意見交換をして内野町の良い所、悪い所、その改善点が多く見つかりました。

これを生かして、自分のできることから自分の住んでいる町をよりよくするために貢献したいです。また、地域の方と交流する機会は少ないので、とても良い経験ができてよかったです。

新潟大学「学校フィールドワーク」受講の学生さんから感想をもらいました

今年度、新潟大学で新たに始まった事業です。教師を目指す学生に学校の日常全般に関わることを通じて、学校を取り巻く環境の理解や教師へのイメージを早期に確立できるよう支援する取り組みです。

2名の学生が8月末から受講し、期間終了後もいちボランティアとして引き続き来校してくれています。

ボランティアに参加してみて、生徒はとても素直で先生も親切に指示等を出していただいたので、とてもよい雰囲気の中で活動することができました。また、先生方や他のボランティアの方々からは、授業の進め方や生徒との接し方など様々なことを学ばせてもらいました。

(経済学部 3年 石田稔和)

母校ということもあり、懐かしい先生、懐かしい教室で当時とは違った角度から授業を受けることができ新鮮な気持ちで参加することができました。多くの生徒の表情が、自分が机に向かっていた時とはまったく違って見えて、教師への道を一步進むことができたのだと実感しました。それと同時に、この内野中では多くの経験をしてきて、大学生となりまた貴重な経験をさせていただき、喜びと感謝の気持ちがこみ上げてきました。

(教育学部 1年 丸山元紀)



広報誌に中学生コーナーが実現しました。昨年「西区地域デザイン講座ジュニア版」に参加した生徒の提案が地域の中で実現しました。この広報誌は、西内野の全世帯に配布され、西出張所や西区役所などにも置かれます。また西区のホームページ、西内野コミュニティ協議会の広報誌のところにもアップされます。この紙面では白黒ですが、実物はカラーで印刷されています。

中学生コーナー

私たちが
編集しました
内野中3年
佐々木彩乃
宮島瑠奈

今回の特集は“飛翔祭”です。

飛翔祭とは、内野中の
体育祭のことで、赤、青、の
3軍に分かれて競い合います。

私の母の頃から
飛翔祭という
名前だそうです。



内野中の飛翔祭はなによりも“熱い”ことで有名

熱い軍をまとめた3つの軍の団長からの一言

狼

工橋 樹真

最高に熱く頑張りました。
ありがとうございます。

全校のリオより熱い内野
魂が見えてよかったです。

本間 俊哉

応援してくれたみんな
ありがとうございます!!

若柳 将

実行委員のお仕事

実行委員は飛翔祭の中で全体を
まとめる仕事をしました。今年は、
スローカーンを作りました。さらに、
全校全員と先生方の意見をまとめた
紙の掲示もしました。あまり
めだたず裏方と思われていますが
一番重要な仕事だと実感しました。

これは
私たちが
作りました。



今年度の飛翔祭はテスト後の5日間で準備や練習
をするというかなりきついものでした。ですがその分、
全員が気持ち「飛翔祭」にむけて一つになるの
はやく、より団結することができました。そして、この
団結力はここで終わりではありません。この力は、
合奏祭である「輝煌祭」でクラス団結力としていか
します。さらにクラスの団結力がより一層かたまること
で、学年、全校がまとまり、よりよい内野中につながります。
創立70周年をむかえた内野中学校もこれからより一層がんばります。